

佳作

星が僕らを見つめてる



日田林工
松野 晃文

設計主旨

私は、日ごろ家の中で生活していて、普通の家では感じるができない、自然を近くで感じながら生活できる家を設計しました。

もともと昔の人たちは自然と隣り合わせで、日常的に自然を感じながら生活してきました。昼間は太陽の光を浴び、雨の日は水を感じ、夜は星を眺め、生活している周りは木々や草などの緑に囲まれていたと思います。

自然を近くで感じながら生活すると、草木がなびく音や鳥のさえずり、視覚的には、四季で変化する風景などを楽しむことができ、日々の疲れを癒したり、心を落ち着かせたりして、のびのびとした生活ができます。ですが近代では、快適に過ごすことを追及しすぎて、特に都市部などを中心に自然からどんどん離れた生活になってきていると感じます。

また、新型コロナウイルスも第6波が来ようとしていて、収まる気配がありません。その影響で、家の中にいる時間が増え、余計に自然と関わる機会が減ったように感じます。家の中は、家の外と比べて自然と触れあいにくい環境です。

ですので今回私は、家の中で生活していて、感じようとしなくても、自然を感じることができながら生活できるような家を考えました。

